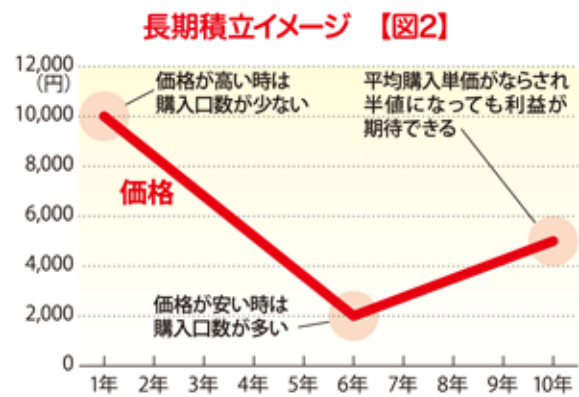


# TVCM放映中のアブラハムの

# 積立について詳しく知ろう!

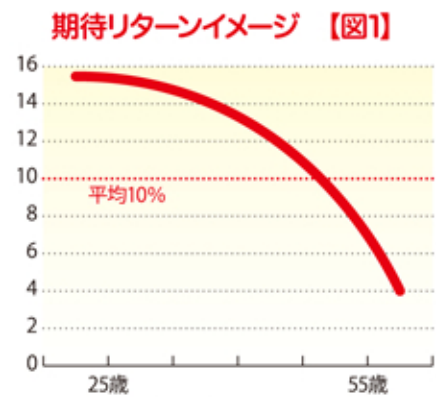


出所:アブラハム・プライベートバンク

リターンを得るように投資家にアドバイスする。

例えば、30代の投資開始時には15%程度の期待リターンを狙う積極型のポートフォリオを提案。積立期間終盤では7%程度の期待リターンを想定した安定型のポートフォリオに組み直し、30年間の平均リターンが年利10%程度になるようにナビゲートするという【図1】。

申込手続きも簡単だ。アブラハム・プライベートバンクが顧客の依頼に基づき、適宜必要書類を取り寄せてくれる。電話で担当スタッフがサポートしながら一緒に記入できるので



出所:アブラハム・プライベートバンク

人生にはさまざまなリスクがある。病気やケガのほか、現役世代にとっては勤め先の業績低迷で給料が下がったり、職を失ったりすることも心配だ。中でも最近話題なのが「長生きリスク」である。日本人男

## 「ライフサイクル理論」に基づく長期の積立投資

# 自分年金「1億円」

### いつかはゆかし「ゆめさせ」!

60歳時の平均余命は20年を超える

性の60歳時の平均余命は22・84歳、女性は28・37歳※1。遺言を迎えた後も、多くの日本人は、生まれたばかりの赤ちゃんが成人式を迎える以上に長い人生があるというわけだ。

そんな長い老後生活を何の準備もせずに迎えるのはいかなるものか。定年退職すれば給料など定期収入がなくなる。新しい職場でバリバリ働くのは体力的に厳しいかもしれない。

夫婦2人でゆとりある老後生活を送るには月36・6万円必要と考えられている※2。仮に夫婦2人で老後を過ごす期間を25年とすれば、36・6万円×12カ月×25年＝1億980万円。充実した老後生活を送る準備は「1億円」

が一つの目安になりそう。退職までに時間がある30代、40代など現役のうちから老後資金の手当てを考えておきたい。

「積極運用」と「安定運用」の融合

では、どうやって「1億円」をつくるか。一般論として月5万円・30年の積立投資（複利）で1億円をつくるには、計算してみると分かるように年利10%で運用する必要がある。

「長期間、ずっと年利10%のリターンが期待できる金融商品なんてあるの?」と思う方もいるかもしれない。

「ライフサイクル理論」をご存知だろうか。運用期間の長い年齢

の若いときにはリスクを取って高い期待リターンを、定年に近づくとリスクを抑えて低い期待リターンを目標にするという考えだ。

この「ライフサイクル理論」に基づく自分年金積立サービスを提供しているのが投資助言会社のアブラハム・プライベートバンクである。同社のサービス「いつかはゆかし」では、投資家は海外優良ファンドなどの中から興味のある商品をセレクト。自宅に居ながらファンドを直接積み立て、老後資金「1億円」を目指す。アブラハム・プライベートバンクは、海外優良ファンドへの分散投資などを通じて、若いときには高い期待リターンを、定年に近づくと低期待

英語が苦手でも安心である。

スタート時の半値でも黒字が期待できる長期積立

さらに、「いつかはゆかし」のような長期の積立投資は、スタート時の価格から半値になっても値動き次第では利益が期待できるというメリットもある。

値動きが【図2】の海外優良ファンドがあったとしよう。「月5万円」など毎月一定額ずつファンドを購入していくことで、価格の高いときに買い過ぎたり、低いときに買い損なったりするのを防ぐ。価格が高いときには購入口数が少なく、反対に価格が低いときは購入口数が多くなり、平均購入単価がならざれるため、スタート時の価格から下がっても利益がでることもあるのだ。

2012年12月に投資助言累計が500億円を突破したアブラハム・プライベートバンクの「いつかはゆかし」をパートナーに、30年後に備えて動き出しはいかがだろうか。

自分年金積立サービス

●入会金 19,800円(税込) ●投資助言料 投資残高の0.945%/年

月5万円で1億円を目指したいすべてのひとへ。

いつかは ゆかし

itsukaha-yucasee.jp

ただいま TVCM放送中

投資助言契約累計 500億円突破

個人投資家が選んだ積立したい商品・サービス 第1位

急成長企業ランキング 2年連続受賞

投資助言会社 アブラハム・プライベートバンク

「日本人の金融リテラシーをグローバルスタンダードに近づけることで、将来不安を抱えるすべての人を安心へと導く」をビジョンに掲げる日本最大の海外投資専門の投資助言会社。自分年金積立サービス「いつかはゆかし」のほか、海外投資コンサルティング「ゆかしスタイル」、海外ファンドのトラブルを解消する「海外ファンド救済センター」を運営している。

金融商品取引業者(投資助言・代理業)  
登録番号 関東財務局長(金商)第532号  
一般社団法人日本投資顧問業協会 会員番号011-01344

2012年12月現在  
アブラハム・プライベートバンク調べ

日本テクノロジー Fast50  
太平洋アジア地域テクノロジー Fast500

Abraham Private Bank アブラハム・プライベートバンク株式会社  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-12-1 虎ノ門ワイコビル5F お問い合わせ: 0120-104-359 (9:00~20:00 月・土・日・祭日休み)

※この広告の内容は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。※投資助言の対象となる金融商品には、各種金融商品相場の変動等により元本欠損が生じるおそれがあります。※積立残高は投資される海外ファンドの運用成績等により異なるため、積立期間終了時の積立残高が保証されているわけではありません。※入会金1万9800円。投資を実行した際は最大で0.945%/年間の投資助言手数料が発生します。※ご入会の際は、会員規約、契約締結前交付書面、投資助言契約の内容についてご理解・ご同意頂いた上、投資助言契約の締結が必要となります。